

性の多様性を考える

あなたなら何色にしますか？

大人「やっぱり男の子は黒よね！」

大人「男の子らしい色って、青とか黒って昔から決まってるもんね！」

店員

「男の子用は青や黒などをご用意しております！」
「女の子用は赤やピンクをご用意しております！」

どうして、
自分の好きな色の
ランドセルを選べないの？

どうしてみんなは、
決めつけて
しまうんだろう…



イラストのように「男は青や黒」、「女は赤やピンク」という発想は、これまでの固定観念によるものです。同じように、性別は「男性」「女性」だけだと固定観念で決めつけてしまうことで、LGBT※¹等の性的マイノリティに悩む当事者にとって、住みにくい社会になっていることがあります。

※¹ LGBT（性的少数者）とは？

英 語	日本語	(大まかな)定義
L: レズビアン	女性同性愛者	同性を好きになる女性
G: ゲイ	男性同性愛者	同性を好きになる男性
B: バイセクシャル	両性愛者	性別にかかわらず、異性を好きになることも同性を好きになることもある人
T: トランスジェンダー	性別越境者	生まれた時に法律的/社会的に割り当てられた性別にとらわれない性別のあり方を持つ人(性同一性障害者を含む)

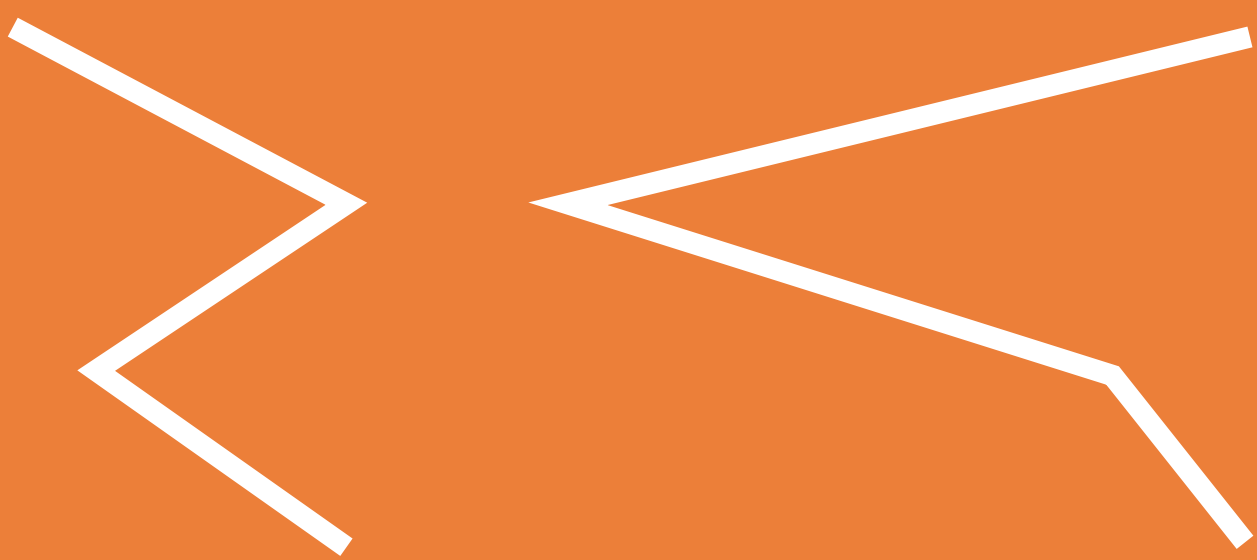
LGBTの方は、わたしたちの身近に多く存在しています。2012年の統計調査によれば、人口の5.2%はLGBTだという結果でした。これは…

20人に1人の割合

2012年電通総研調べ

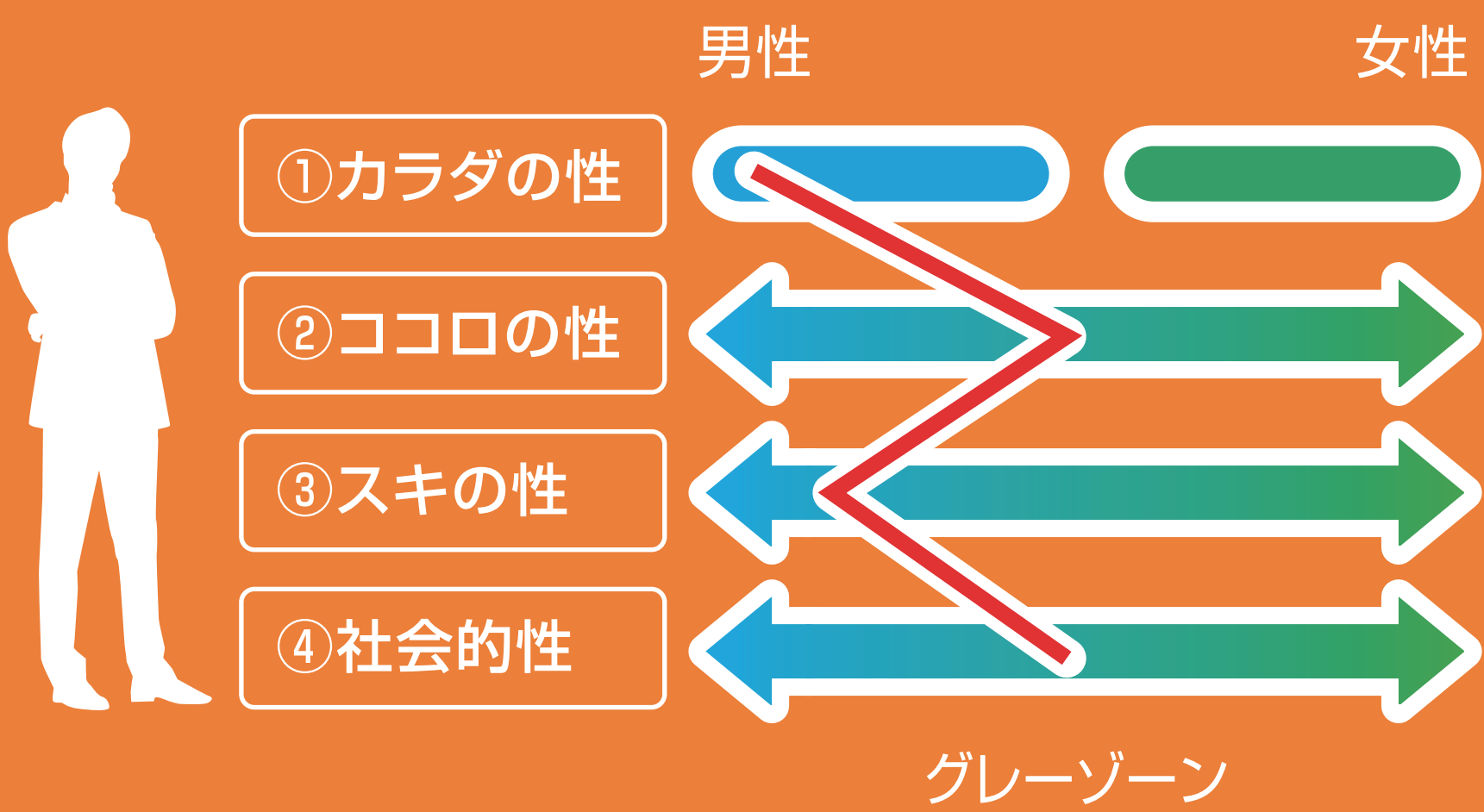
LGBTかどうかは、**見た目(服装、しぐさ、言葉遣い)**だけではわかりません。固定観念で物事を決めつけてしまうことで、知らず知らずに相手を傷つけてしまうことがあるかもしれません。

性のあり方はいろいろ

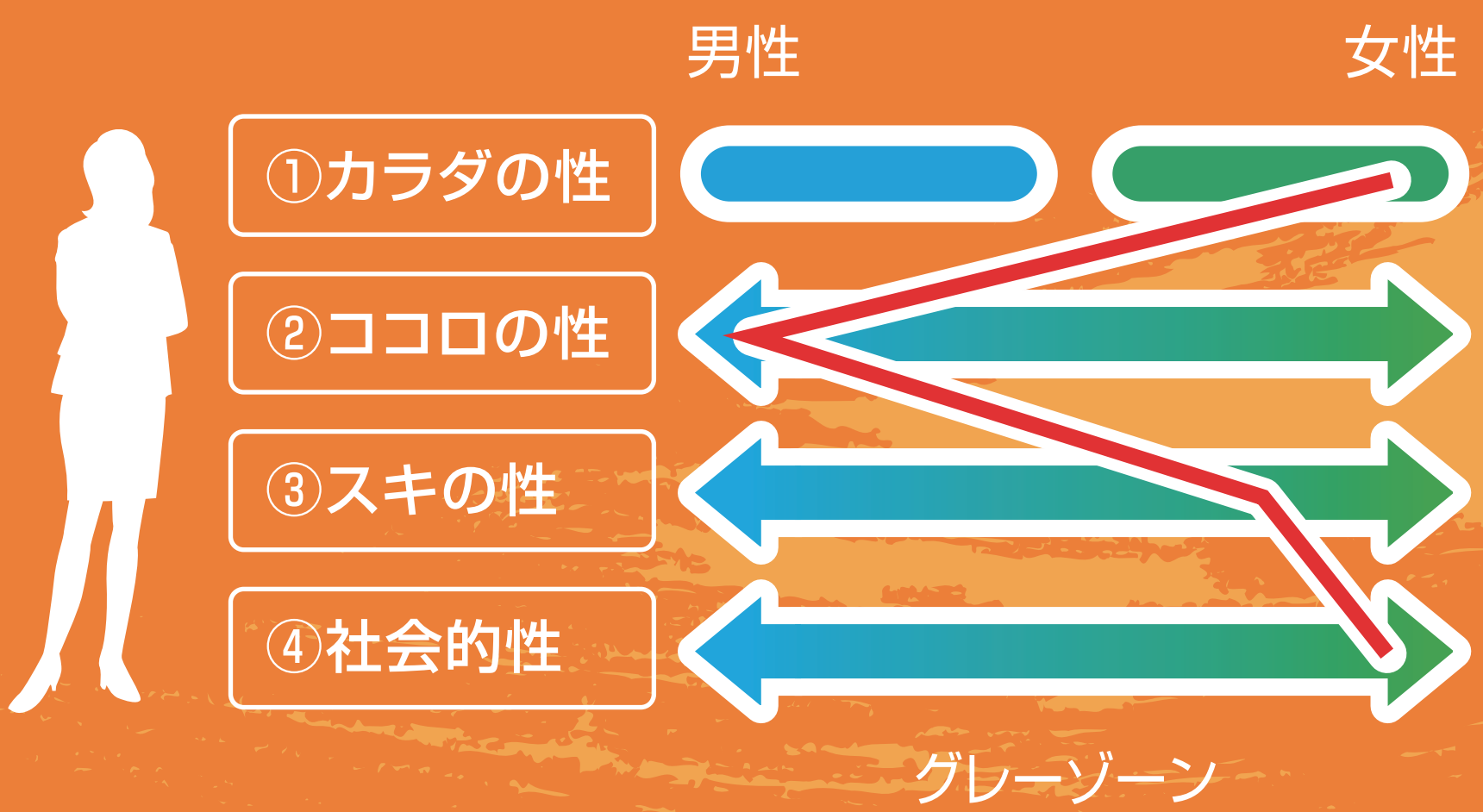


この線は、
何を表しているでしょうか？

Aさんの性の場合



Bさんの性の場合



AさんとBさんの性のスペクトラム※2を見ると、①カラダの性、②ココロの性、④社会的性が異なっていることがわかります。また、②ココロの性、③スキの性、④社会的性は「男性」「女性」「グレーゾーン」「どれにも当てはまらない」というように、人によって性のあり方はさまざまであることがわかります。

「男なんだから男らしく」とか「異性を好きになるのが当たり前」など、思いこみや偏見で性のあり方を決めつけることで、その人の人権を傷つけてしまうことがあります。

※2：性のスペクトラム
グラデーションにはさまざまな色があるように、多様な性があることを表しています。

カラダの性	生まれもった生物学的な身体づくりのことで、さまざまな発達の状態があります。
ココロの性	自分自身で認識している性を示します。
スキの性	恋愛対象がどの性なのかを示します。
社会的性	社会的に自分の性をどのように見られたいかということを示します。

カラダの性のさまざまな発達 (Differences of Sex Development)

DSDs (ディーエスディーズ) とは、外性器の形や、女性の膣や子宮の有無、染色体の構成など、これが普通の男性・女性の体だとする固定観念とは生まれつき一部異なる状態をいいます。DSDs 当事者を「男でも女でもない」「男女の間」「第三の性」とする誤解や偏見がありますが、当事者の多くは自分を男性もしくは女性であることに全く疑いを持ったこともなく、むしろ社会から自分を完全な男性・女性として見てもらえないのではないかと不安に思っているのが実情で、性のあり方の多様性と混同しないよう注意が必要です。

(参考：ネクス DSD ジャパン www.nexdsd.com)

マイノリティ当事者として



両親へのカミングアウト

僕も、本当の自分が出せないことで、毎日、自殺を考えていた一人でした。中学生から高校生にかけての思春期に自分の身体に違和感を持つようになり、女性と偽って生活することが本当につらかったです。

生きているのが辛い

2012年の自殺総合対策大綱には、自殺リスクが高い層として「性的マイノリティ」という言葉が入りました。この背景には、性的マイノリティを対象とした調査で、60%以上が「死にたい」と考えたことがあること、15%が自殺未遂を経験しているということがあります。

僕自身もそうだったように、自分らしく生きていけないことが当事者の自殺願望に結びついています。

性の多様性への理解

性の多様性について、否定的ではなく、肯定的に捉え、当事者や自分のまわりに話をしてみるのが理解につながります。話をすることで、「この人は理解してくれている」という安心感が生まれます。

性の多様性は目に見えないものです。性的マイノリティの当事者は、きっとあなたの周りにはたくさんいます。しかしカミングアウトができていない(できない)という状況なので、視野を広げてほしいと思います。まわりの一言一言がその人の人生を変えていきます。

レインボー※³フェスタの開催 ～当事者からの発信～

LGBTや性同一性障害をはじめとする多数の性的マイノリティ当事者やその家族・友人などが参加し、当事者同士の交流を深めるきっかけづくりになっています。

東京、愛知、大阪、福岡などの地域でも開催されています。

山口 颯一さん(LRL代表)

女性として生まれてくるが、物心がついた時に自分のカラダに違和感を持ち、男性であるという自覚を持つ。21歳で性別適合手術を受け、戸籍、名前を変更する。現在は、同じ悩みに苦しむ性的マイノリティの支援活動を行う。

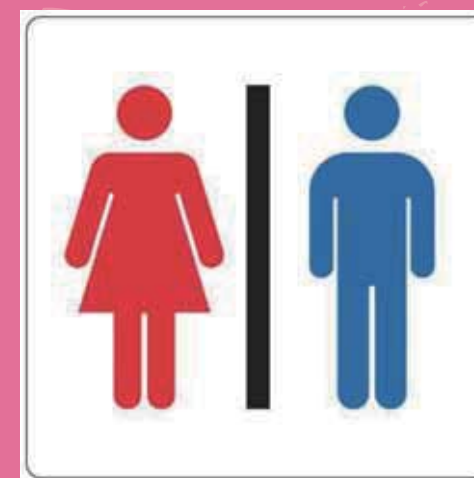
※3 レインボー：赤、橙、青、緑、黄色、紫の6色 1970年代末にアメリカで考案され、性の多様性を表しています。多様性の他に平和を求める意志も示しています。

だれもが住みよい 社会にするために

どちらのトイレをつかえばいい？
性別にとらわれないトイレ表示が、当たり前になれば・・・

女性・男性の表示がはっきりしている

見た目で判断されたり、カラダの性とココロの性がちがったりする場合、まわりから理解されず、安心してトイレを使うことができないことがあります。



「多目的トイレ」や「みんなのトイレ」

性別に関係のない表示やトイレがあることで、当事者は、安心して使用することができます。また、健康状態などに応じて使用することもできるので、当事者だけでなく、だれもが安心して「使用できる」「しやすい」トイレとなります。

右のように、性別にとらわれない表示が当たり前になっている国もあります。日本でも多目的トイレの表示は車いす表示だけでなく、だれもが使えるような表記にもなってきています。

this is an
ALL-GENDER
restroom



「当たり前」と考える地域や学校や 企業などの動きが各地で広がっています

「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」

2003年11月1施行

性別に違和感をかかえる人のうち、「性同一性障害」の診断を2人以上の医師から受けることができた人が、性別の変更をすることができます。

「性同一性障害の男性の保険証の性別表記女性に変更」容認する方針決定(厚生労働省)

2014年7月

- ・多摩市女と男の平等参画を推進する条例 2014年1月1日施行
- ・文京区男女共同参画推進条例 2013年11月1日施行
- ・淀川区役所 LGBT 支援宣言 2013年9月1日

《学校では・・・》

- ・性同一性障害に関する調査実施(文部科学省)2014年4～12月
- ・性的マイノリティをテーマにした人権学習の取組
- ・理解を深めるための教職員研修や服装、トイレ、更衣室など配慮と対応 など

《企業では・・・》

- ・「家族(血縁・婚姻)、または同住所(生計を同じくしている)が確認できること」として、夫・妻・子どもというこれまでの形にとらわれない、同性パートナーの形を認めている。
- ・従業員の同性カップルの福利厚生支援の実施 など

自分らしく生きる

「自分のまわりには、こうしたことで悩んでいる人はいない」と、思っていないですか？

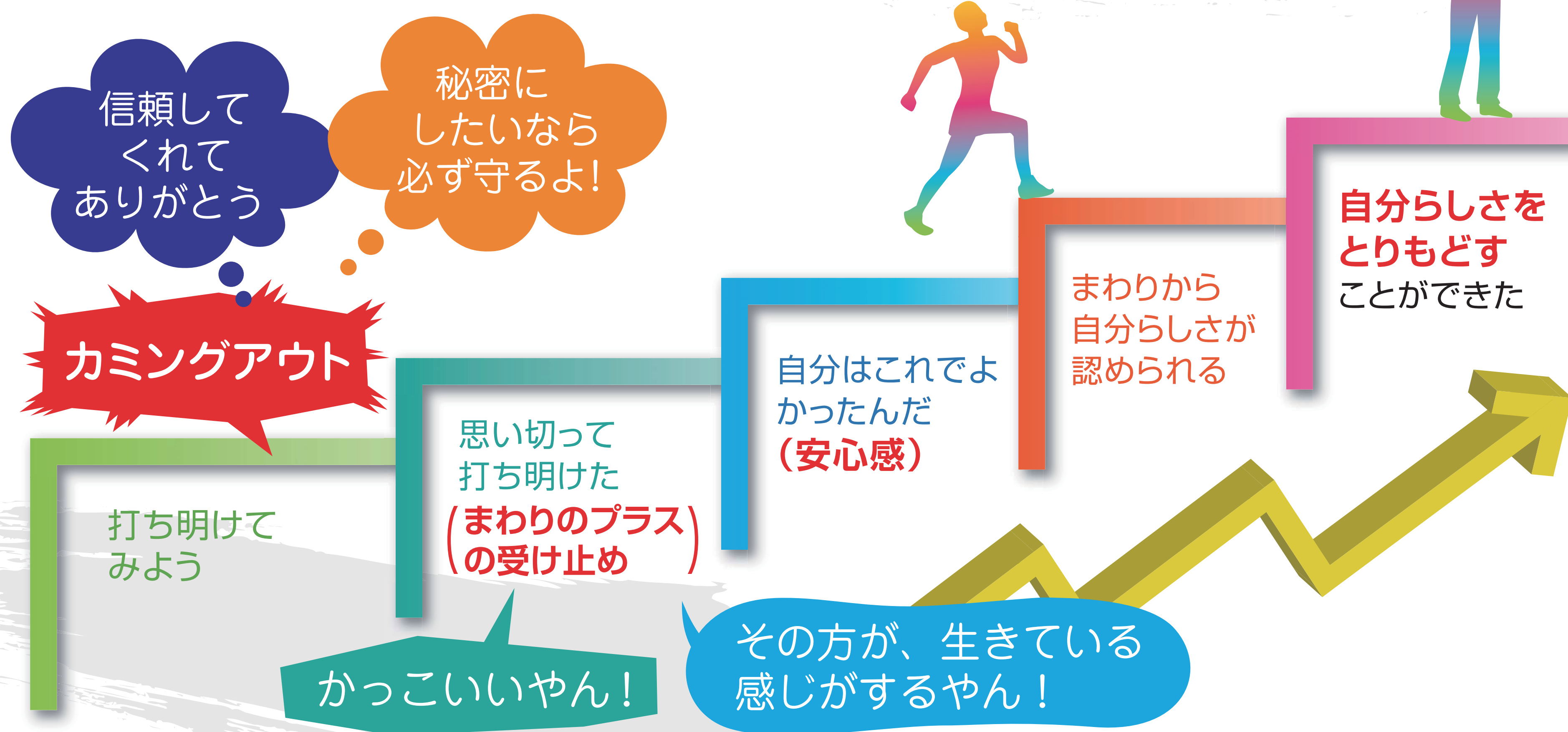
あなたがそう感じるのは、LGBT当事者が悩みや苦しみを誰にも打ち明けられずにいるからです。自己否定し、学校や地域、職場などで生きにくさを感じている人たちは、あなたのすぐそばにもいます。

その背景には、私たちや社会に、「性は2つ」、「当たり前」、「普通」などといった固定観念があるからではないでしょうか。まず、自分ごととして、LGBTなどの性的マイノリティの問題に目を向けて下さい。ちがいを認め合い、多様な生き方が尊重される社会は、きっとすべて人にとって生きやすい社会であると思います。

相談されたり、「実は…」とカミングアウトされた時は…

- ・驚くと思いますが、まずは落ち着いて話を聞いてください。
- ・カミングアウトはあなたへの信頼の証です。あなたを選んで話しています。
- ・個別に受けたカミングアウトは周囲にはもらさないようにしましょう。

「自分らしさ」「その人らしさ」をとりもどす



これまで、知らず知らずのうちに相手を傷つけてはいることはなかったか、もう一度ふりかえり、多様な背景をもつ人が安心して暮らせることができる、

「わたしも OK！ あなたも OK！」

の「ありのままの自分」で生きることが出来るまちづくりをめざしましょう。